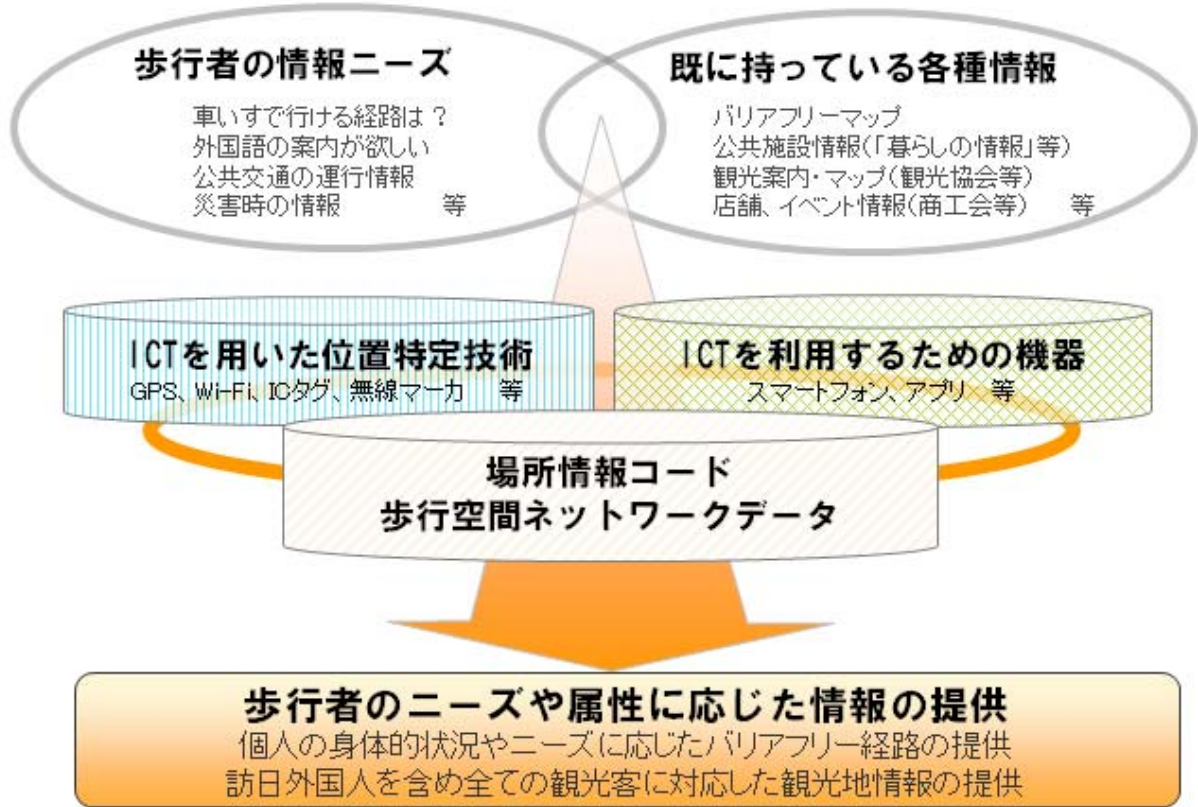


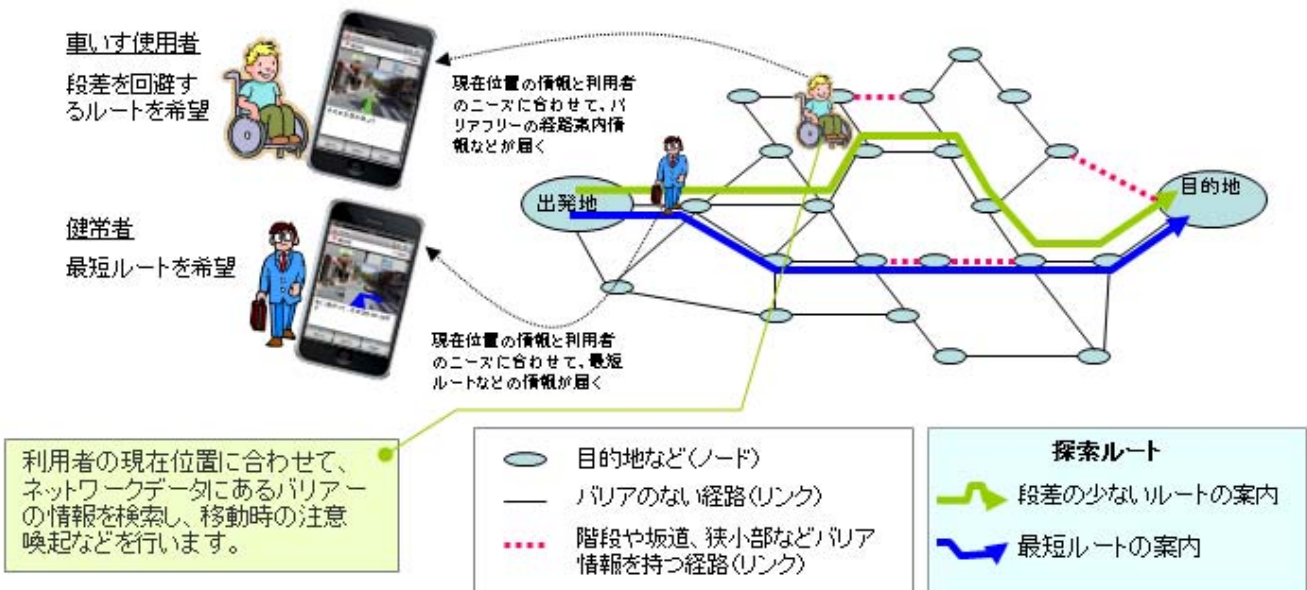
## サービスの内容と仕組み

歩行者移動支援サービスは、様々な場面における利用者の情報ニーズに応え、移動経路や地域情報等を提供できるサービスで、スマートフォン等を通し、ダイレクトに個人へ情報提供できる仕組みです。



## サービスを支える歩行空間ネットワークデータ

歩行空間ネットワークデータが整備されると、階段、道幅、段差等を避けた、個人の身体的状況やニーズに応じたバリアフリー経路の検索が可能となります。



# 歩行者移動支援システムの構成

## ① 位置特定技術

場所情報コードを発信し、高精度かつリアルタイムな位置特定を実施



(ucode)  
Push型 (アクティブ) の情報提供

## ② 場所情報コード

論理的な場所を示す場所情報コード



## ③ 歩行空間ネットワークデータ

場所情報の繋がりや、歩行空間上のバリア情報の有無等を示すデータ



## ④ 施設データ

公共施設やトイレ等の施設データ



位置特定情報の発信



場所情報コードや個人属性に応じたサービスを問合せ

ナビゲーションサービス等

## ⑤ 携帯情報端末

場所情報コードを基にアプリケーション・サービスと連携し、場所や利用者の属性に応じ、経路情報や施設情報などさまざまな情報を表示



場所情報コード、歩行空間ネットワークデータ、施設データなどの情報を利用し、提供する情報を解析

(アプリケーション例)

- ・目的地、施設情報検索
- ・安全経路探索
- ・周辺情報提供
- ・目的地への誘導案内



## ⑥ アプリケーション・サービス